



TITLE:

女ニ子ヲ生マス政策

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

---

CITATION:

米田, 庄太郎. 女ニ子ヲ生マス政策. 經濟論叢 1917, 4(1): 116-123

ISSUE DATE:

1917-01-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127143>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號一第 卷四第

行發日一月一年六正大

## 論說

官業問題ニ就キテ(一).....

法學博士

神戸正雄

體質廢頽問題(二).....

法學博士

財部靜治

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(二、完).....

法學博士

戸田海市

消費ニ關スル學說ノ發達(一).....

.....

瀧本誠一

經濟心理學ノ組織的研究(一).....

.....

米田庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二、完).....

法學士

河田嗣郎

## 雜錄

賤民名稱考.....

文學博士

新村出

女ニ子ヲ生マス政策.....

.....

米田庄太郎

原始亂婚ニ就イテ.....

文學士

高田保馬

寶曆ノ豫算.....

法學士

本庄榮治郎

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二、完).....

.....

山本美越乃

經濟雜話(七).....

法學博士

田島錦治

戰後ニ對スル二大準備.....

法學士

河田嗣郎

新著紹介及ビ寄贈書目

## 女子ヲ生マス政策

米田庄太郎

夫レ出生率減少ノ傾向ハ今ヤ歐米諸國、殊ニ現代文明ノ最トモ進歩セル諸國ニ於テ著シク現レ來リ、種々ノ重大ナル社會問題、國民問題ヲ惹起シテ居ルガ、其ノ最トモ重要ナル直接原因ハ現代人ノ出生力ガ減弱セルコトデハナクシテ現代人ガ盛シニ避妊ヲ行ナフコトデアルハ、今日學者ノ一般ニ承認シ來レル事實デアル。而シテ其ノ避妊ノ行ハルル原因ヲ詳シク研究シテ見ルト、吾人ハ種々ナル社會的及ビ心理的動機ヲ發見スルノデアルガ、其ノ中デ現代文明國ノ女子ヲ生ムヲ好マナクナツテ來タト云フコトガ

最トモ重要ナル一動機デアルト思ハレル。併シ此事ニ付テ尙ホ一步進ンデ考ヘテ見ルト、茲ニ重要ナル社會學上ノ一問題ガ起ツテクル。夫レハ現代文明國ニ於テ始メテ女子ヲ生ムノヲ好マナクナツタノデハナクシテ、女ハ本來子ヲ生ムノヲ好マナイモノデアルノデハナイカト云フ問題デアル。

從來社會學上ニ於テハ、女ノ社會的本分ハ子ヲ生ミ、子ヲ育テルコトニシテ、而シテ之レハ社會ガ女ニ外部ヨリ強制的ニ課セル職務デハナクシテ、女ノ本來ノ性質、女ノ本能ニ基ツク自然的勤勞デアル、即チ子ヲ生ミ、之ヲ育テルハ女ノ本來ノ要求デアツテ、女ハ自カラ好ンデ之ヲナスモノト解シテ居ルノデアル。而シテ又カカル見解ヨリシテ女ノ社會的地位ヤ社會的役目ヲ論定シ、更ニ子供ノ出生及ビ養育ト女トノ關係ニ關シテ原始時代ヨリ發達セル諸般ノ社會的思想、慣習及ビ制度等ヲ説明シテ居ルノデアル。然ルニ今現代文明國ノ女ニ於テ明ラカニ現ハレテ來タ一傾向、即チ子ヲ生ミ之ヲ育テルヲ好マ

ナイ傾向ヨリ推シテ、女ハ本來子ヲ生ミ之ヲ育  
テルヲ好ムモノデハナク、社會ニ強制サレテ之  
ヲナシ來レルモノデハナイカト云フガ如キ問題  
ヲ起シテ考ヘテ見ルト、從來ノ社會學上ノ説明  
解釋ニハ自カラ満足出來ナクナル。而シテ吾人  
ハ少クモ其等ノ説明ヲ根本的ニ考ヘ直ス必要ヲ  
感ジテ來ルノデアル。

吾人ハ從來男女ハ本來相和合スルモノデアル  
ト云フ思想ヲ基礎トシテ、男女間ノ關係ヲ論ジ、  
又此關係ニ關シテ原始時代ヨリ發達セル諸般ノ  
社會的慣習、制度及ヒ思想等ヲ説明シテ居ツタ  
ガ、然ルニ Sexual antagonism ガ又男女間ニ本  
來存在スル一傾向デアルコトガ發見セラルルニ  
至ツテ、從來ノ解釋、説明ヲ種々ニ變更スル必  
要ニ迫セラレテ來タト同様ニ、今若シ子ヲ生ミ  
之ヲ育テタルコトハ、本來女ノ自カラ好ンデナス  
モノデナイト云フコトガ、明ラカニ説明サレタ  
トスルト、吾人ハ子供ノ出生及ヒ養育ト女トノ  
關係ニ付テ從來抱テ居ツタ思想ヤ、又此關係ニ  
關シテ發達セル諸般ノ慣習、思想及ビ制度ニ下

シテ居ツタ説明ヲ根本的ニ變更セネバナラナク  
ナル。併シ此事ハマタ證明サレタノデハナイ。  
否ナマダカカル問題ヲ起シタ人モナイ様デア  
ル。余モ數年前ヨリ潛カニ此問題ヲ起シテ居ッ  
タダケデ、マダ之ヲ公ニ發表シタコトハナイ。  
然ルニ近着ノ亞米利加社會學雜誌 The American  
Journal of Sociology. July, 1916. ノ中ニれた・ス  
・ほるりんぐらお・スノ公ニセル一論文「子供ヲ  
生ミ且ツ養育ス可ク女ヲ促カス社會的方策」  
Leta. S. Hollingworth, Social Devices for Imp-  
elling Women to Bear and Rear Children. ハ  
右ノ問題ニ關シテ甚ダ興味アル説ヲ述ベタモノ  
デアル。該論文ノ筆者ハ果シテ右ノ問題ヲヨク  
意識シテ本論文ヲ書イタノデアアルヤ否ヤハ確カ  
デナイガ、併シ其中ニ論述シテ居ルコトハ、實  
際上右ノ問題ニ觸レタモノデ、余ハ之ヲ一讀ス  
ル際、大ニ興味ヲ感ンジタカラ茲ニ其ノ大要ヲ  
紹介スルコトトスル。

今子供ノ出生及ヒ養育ト女トノ關係ニ付テ古  
來行ハレテ居ル浪漫的ナル感情及ビ思想ヲ一切

排除シテ、虛心平氣ニ冷淡ニアリノママノ事實ヲ考察シテ見ルト、先ヅ第一ニ女ガ子ヲ生ムコトハ多クノ點ニ於テ兵卒ノ仕事ニ類似シテ居ル、女ガ子ヲ生ムコトハ兵卒ノ仕事ト同ジク、種族又ハ國民ノ存在ニ必要デアリ、箇人の利益ノ大ナル犠牲ヲ意味シ、幾多ノ危險及ヒ苦痛ヲ含ミ、又少ナカラヌ場合ニ於テ生命ヲ失フノデアル。此クテ社會ガ女子ヲ生マス爲ニ工夫スル方策ト、兵卒ヲ死ナス爲メニ工夫スル方策トハ多クノ點ニ於テ類似シテ居ル。

次ニ女ガ子ヲ生ムダケデハ社會ノ持續及ヒ膨脹ノ目的ハ達セラレヌ。更ニ子ヲ養育セネバナラス。而シテ此ノ子供ノ養育ト云フコトハ非常ニ面倒ナ勞苦ト犠牲ヲ要求スルガ、男ハ自カラ之レニ當ルヲ好マスカラ、女ヲシテ之レニ當ラシメヤウトスル。ソコデ色々ナ方策ヲ工夫スル。更ニ女ニハ本來母ノ本能ナルモノガ具ハツテ居ツテ、總テノ女ハ如何ナル苦痛、犠牲及ビ不利益ガ伴ナフカヲ問ハズ、母タラントスル非常ニ強烈ナ慾望ヲ起スモノデアツテ、カ、ル慾

望ヲ起サナイ女ハ怪物デアルト云フガ如キ思想ヲ確立シテ、賢母良妻タルコトガ女ノ自然デアリ、女ノ本分デアルト云フ確信ヲ女ニ抱カセヨウトスル。併シ實際上總テノ女ガソナ本能ヤ慾望ヲ有ツテ居ルモノデアラウカ。之ヲ確實ニ證明スル事實ハナイ。惟フニ母ノ本能ナルモノノ女ノ間ニ於ケル分配ハ、恐クハ他ノ心理的諸特性ノ分配ト同様ニ種々ナル度合ノ差異ヲ示スモノデアラウ。若シ之ヲ分量的ニ測定スルコトガ出來タナラバ、其結果ハ恐クハ一ノカ一ゲヲ畫キ、全ク母ノ本能ヲ有シナイ又ハ母タル嫌惡スル一極端カラ、順次ニ相當ナ度合ニ於テ之ヲ有スルモノヲ通ジテ、甚ダ強キ度合ニ於テ之ヲ有スル他ノ極端ニ達スルコトヲ示スデアラウ。

要スルニ吾人ハ確實ナル事實トシテ、左ノ三ケノ事柄ヲ承認セザルヲ得ナイ。

- (1)、子供ヲ生ミ、之ヲ養育スルコト、種族又ハ國民ノ存在及ビ膨脹ニ對シテ必要缺ク可カラザルモノナルコト、
- (2)、子供ヲ生ミ、之ヲ養育スルコトハ、女ニ於テ大ナル苦痛デアリ、生命ニ危險デアリ、又多年ノ面倒ナル勞苦ト犠牲

ヲ含ムモノナルコト、

(3)、母ノ本能ハ高キ出生率ヲ維持スルコトニ含マルル苦痛危險及ビ面倒ナル苦勞ヲ、女ヲシテ自カラ進ンデ求メシムル程強烈ナル力ヲ具ヘテ、總テノ女ニ存在スルモノナルヲ示ス確實ナル證據ノ全ク存在シナイコト、

サレバ社會ヲ統御スル人々ガ、戰爭ヤ疾病ヨリ生ズル人口ノ損失ヲ補フニ十分ナル出生率ヲ維持スル様、女ヲ促カシ或ハ強ユル種々ナル方策ヲ工夫シ、之ヲ實行セント努力スルデアラウト云フコトハ、自カラ推察サレルノデアアル。而シテ此點ニ付テ如何ナル社會的方策ガ工夫サレ、又實行サレテ居ルカラ少シク考究シテ見ヤウト思フノガ、本論文ノ主意デアアル。

ろつすハ社會統制ノ手段ヲ詳シク研究シタガ、其ノ重要ナルモノト認メタルハ、輿論、法律、信仰、社會的暗示、教育、慣習、社會的宗教、人格理想、藝術、人格、啓蒙、幻想、及ビ社會的評價等デアアル。茲ニ此等ノ諸手段中ノ或者ガ女ノ統制ニ於テ、如何ニ適用サレタカラ少シク調ラベテ見ヤウ。

(1)、人格理想、各箇人ハ社會ニ對シテ夫レ夫

レ盡クス可キ一定ノ職分ヲ有スル。而シテ社會ハ各箇人ヲシテ十分ニ其ノ職分ヲ盡サシム可ク種々ナル手段ヲ工夫シ使用スルガ、夫レ夫レノ職分ニ對シテ之ヲ十分ニ盡クス性格ヲ理想化シ、其職分ヲ有スル人々ノ遵奉ス可キ人格理想トスルコトハ其ノ一デアアル。而シテ女ニ於テハ其ノ第一ノ又最トモ原本的ナル職分トシテ認メラレモノハ、即チ國民的戰爭ヲ有効ニ遂行シ、又植民の膨脹ヲナスニ適スル多數ノ子供ヲ生ミ、且ツ之ヲ養育スルコト云フコトデアアル。此クテ「女らしき女」トカ「正常の女」トカ云フ女ノ人格理想ハ、誠實ニ熱心ニ産兒及ビ育兒ノ務メヲ果タスト云フコトヲ標的トシテ樹立セラレ、而シテ此等ノ務メヲ果タサナイ、又ハ果タサウトシナイ女ハ腐敗セル女デアルトカ、頹廢セル女デアルトカ、不正常ノ女デアルトカ、社會ニ非難サレ擯斥サレルコトトナツタ。然ルニ何人モ自分ノ社會ヨリ不正常ノ女デアルトカ、頹廢セル女デアルトカ云フガ如キ非難ヲ受ケ、擯斥サレルヲ好マナイ。否ナカカル社會的非難、社會的擯

斥ハ女ノ最トモ苦痛トスル處デアル。此クテ此ノ人格理想ハ一般ニ女ヲシテ子ヲ生ミ、之ヲ育ダテルコトハ女ノ第一ノ務メデアルト信ンジテ、産兒及ヒ育兒ノ爲メニ全力ヲ盡サシムルコトトナツタノデアル。併シカカル人格理想ノ力ダケデハ勿論女ヲシテ十分ニ産兒及ヒ育兒ノ務メヲ盡クサシムルニハ足ラナイ。ソコデ社會統制ノ中心ハ其ノ外ニ種々ノ手段ヲ工夫シテ居ル。

(2)、輿論、輿論モ亦女ヲシテ産兒及ヒ育兒ノ務メヲ盡サシムル爲メニ、一ノ有力ナル手段トシテ用ヒラレテ居ル。何人モ輿論ノ非難ヲ受クルコトハ尤トモ苦痛トスル處デアルガ、今日輿論形成ノ主要機關タル新聞ニ於テ、又雜誌ニ於テ、女ガ母タラントスル念以外ノ念ヲ起シ、又母ノ職務ヲ盡クス爲メノ能力技量以外ノ能力技量ヲ修養セントスルコトハ、總テ危險デアル、墮落デアル、悲シム可キコトデアル、不正常デアル、頹廢ノ徵候デアルトシテ極力非難セラレ、排斥サレテ居ル。而シテ産兒ト育兒トノ爲メニ

全力ヲ盡クシ、多數ノ子ヲ生ミ、之ヲ育ツル女ハ盛カンニ賞揚サレテ居ル。

(3)、法律、法律ハ一ノ社會的制度トシテ現ハレテ以來、常ニ女ヲ支配スル一ノ有力ナル道具ニ用ヒラレテ居ル。而シテ法律ガ財産ノ所有權及ヒ處分權ヲ女ニ禁ジタコトハ、女ヲシテ只産兒者及ビ育兒者タルニ止マシムル事ニ付テ最トモ重大ナル間接的勢力トナツタ。カカル法律上ノ規定ニヨリテ、女ハ比較的ニ無資産階級トナリ、社會的勢力ノ根底タル財産ハ彼等ノ手ヨリ奪ヒ去ラレタ。社會ハ女ノ本性ハ只母トナリ、母ノ務メヲ盡クスダケデ十分ニ満足サレルモノデアルト肯定スルト同時ニ、女ガ此ノ埒外ニ脱出スル一切ノ途ヲ塞ク爲メニアラユル用心ヲ盡クシテ居ル。尙ホ出生率ヲ維持ス可ク直接ニ女ヲ強制スル效果ヲ有スル法律上ノ規定トシテ、茲ニ擧ゲテ置キタイモノハ二ツアル。一ハ妻ノ妊娠不能ヲ以テ離婚ノ一原因トナシ得ラルル法律上ノ條文デアル。二ハ出生抑制ノ手段ニ關スル科學ノ知識ヲ他人ニ傳ヘルコトヲ禁止スル法

律上ノ規定デアル。實ニ墮胎、嬰兒殺、及ビ棄兒ヲ禁シ、之ヲ處罰スル法律上ノ條文モ亦産兒及ヒ育兒ノ仕事ニ女ヲ束縛スルコトニ貢獻シテ居ル。併シ出生抑制、墮胎、嬰兒殺及ヒ棄兒等ヲ禁ズル此等ノ法律ホド明白ニ、人口維持ノ保證トシテ母ノ本能ナルモノノ力ノ不充分ナルヲ證明スルモノハアルマイと思フ。

(4)、信仰、生活ノ隠レタル部分ヲ支配スル信仰モ亦人口ノ維持及ヒ増加ノ爲メニ有效ナル一手段トシテ用ヒラレテ居ル。例ヘハ正統派ノ教ヘヲ信ズル女ハ、子供ヲ制限スルコトヲ以テ、死後神罰ヲ受ク可キ罪惡ト考ヘテ居ル。併シ詳細ニ調ラベテ見ルト、聖書ノ中ニハ明白ニ子供ヲ制限スルコトヲ禁ズル神ノ言葉ハ何處ニモ發見サレナイ。

(5)、教育、第十九世紀ノ終リマデハ、女子ノ教育ハ常ニ女子ノ自覺ヲ誘致シナイ様ナ事柄ニ制限サレテ居ツタ。此クテ教育ハ消極的ニ女子ヲ束縛スル手段ニ用ヒラレタガ、更ニ又積極的ニ女子ヲ束縛スル手段ニモ用ヒラレタ。即チマ

ダ獨立ニ考ヘル力ノ發達シテ居ラナイ少女ノ精神ニ、女子ハ生長スレバ妻トナリ母トナルヨリ外ニ何等ノ使命ヲモ有タナイモノデアルト云フ信仰ヲ深ク植付ケルニ相應シキ事實ト思想ヲ強ク注入シタ事デアル。而シテ第十九世紀ノ後半期ニ於テ女子ガ眞實ナル開發、眞ノ教化ヲ得ント奮闘ヲ始ムルヤ、之レニ對シテ最トモ屢々加ヘラレタル反對ハ、此クテハ人口ガ傷害ヲ受ケルデアラウトカ、女ノ本性ガ變化スルデアラウトカ、家族ハ衰退スルデアラウトカ、出生率ハ減少スルデアラウトカ云フガ如キコトデアツタ。社會ヲ支配スル人々ハ頑強ナル反抗ノ後遂ニ教育ヲ以テ女子ヲ統御スルコトガ到底不可能ナルヲ覺ツテ、茲ニ漸ク舊式ノ女子教育ヲ放棄シタノデアアル。

(6)、藝術、諸種ノ藝術モ亦理想化セル母子關係ヲ其ノ得意ノ題目トスルコトニヨリテ、女ヲ只産兒者及ヒ育兒者タラシムル事ニ重要ナル影響ヲ及ボシテ居ル。藝術ハ母ガ子ヲ生ミ、之ヲ養育スルコトニヨリテ受クル報償ノ方面、産兒



育兒ニ關スル光明ノ方面ダケヲ美ハシク理想的ニ描寫シテ、他ノ暗黒ナル方面ハ全ク隠クシテ居ルカラ、處女ハ之レニヨリテ母タランコトヲ切望スル念ヲ起シ、既ニ母タルモノモ之レニヨリテ其ノ暗黒ノ方面ヲ忘レテ大ニ慰ミヲ得ル。此クテ藝術ハ陰カラ人口増加ノ強イ味ヲシタノデアル。

(7)、幻想、幻想ハ社會的統御力トシテ重大ナル勢力ヲ有スルモノデアルガ、今何レノ事柄ニ付テモ、望ム處ノ幻想ヲ發達サセル最トモ有效ナル方法ノ一ハ、其事柄ニ關スル一切ノ苦痛ナ又不愉快ナ事情ヲ悉ク隠クシ、又其等ノ事情ガ人々ノ口ニ上リ、耳目ニ觸レル機會ヲ全ク禁止スルコトデアル。此クテ出産ノ有様ヲ談話ニ上スコトハ堅ク禁ゼラレ、出産ノ苦痛ト危險ハ全ク少女ヨリ隠クサレ、更ニ產婦ノ死亡ニ付テハ、其眞原因ガ公ニサレルコトハ稀レデアル。併シ實際女子ガ出産ノ際ニ死亡スル場合ハ随分ニ多イノデアル。要スルニ一方ニ於テハ出産ノ苦痛、危險等ハ全ク談話ニ上ルヲ禁ゼラレ、育兒ニ

關スル面倒、單調ナル勞働、其他不快ナル方面ハ總テ出來ルダケ、少ナク見積ラレルト同時ニ、他方ニ於テハ母ノ悦ビ、樂シミ、報償ハ擴大サレ、理想サレテ畫カレテ居ル。此クテ母ノ境涯ハ實ニ美ハシキ樂シキ只報償ノミヲ以テ滿タサレタル境涯デアルト見ル幻想ガ生マレタノデアル。而シテ此幻想ハ又人口増加ノ上ニ重大ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデアル。

(10)、鬼面、女ヲ統御スル手段トシテ工夫サレタルモノニシテ、ろつすが列舉セル社會的督制ノ手段ノ何レノ部類ニモ入レ難イモノガアル。假リニ之ヲ鬼面ト稱シテ置ク。ツマリ子ヲ生マナイコトヤ、出産ヲ制限スルコトヤ、又出産ノ時期ノ後レルコト等ガ種々有害ナル結果ヲ生ズルコトヲ説イテ、女子ヲ嚇シツケル手段ニ用ヒラレルモノヲ云フノデアル。併シ其等ノ有害ナル結果ガ果シテ實際起ルモノデアルカ。末タ之ヲ科學的ニ證明シタル人ハナイ。彼等ハ只女ヲ嚇ス爲メノ鬼面ニ過ギナイ。

以上簡單ニ述ベ來リシ處ニヨリテ見ルモ、所

謂「社會ノ保護者」ナルモノガ、只母ノ本能ノミニヨリテ人口ノ充分ナル保證ガ得ラレルトハ眞ニ信ンジテ居ラナイコトハ明白デアアル。彼等ハ女ヲシテ童ニ子ヲ生マシムルノミナラズ、更ニ子ヲ育ダテシムル爲メニアラユル社會的手段ヲ利用シテ居ル。吾人ハ只母ノ本能ノミデ人口ノ維持及ビ増加ガ如何程成就シ得ラルルカハ、其等ノ總テノ社會的手段ガ全ク效力ヲ失ナフマデハ確カニ知ルコトハ出來ナイ。而シテ女ハ其等ノ手段ニヨリテ從來支配サレテ居ウタ、又現ニ支配サレテ居ルト云フ事實ヲ十分ニ意識スルヤ否ヤ、其等ノ手段ハ全ク無効トナルデアラウガ、其場合ニ吾人ハ始メテ母感情ノ眞ノ效力ヲ測定スルコトガ出來ルデアラウ。

何故ニ社會ガ彼ヲ狭イ途ニ推シヤリツツアルカラ覺ル人ハ其ノ壓迫ニ抵抗スルデアラウ。如何ニ彼ガ支配サレテ居ルカラ明ラカニ理解スル人ハ夫ヨリ解放サレルデアラウ。社會的支配ノ秘密ヲ覺ルコトハ社會ニ對スル鬭爭ニ於テ箇人ヲシテ豫メ武備ヲ整ヘシムルコトニナル。

今ヤ最トモ望マシキ產兒者タル最トモ賢明ナル女子ガ、產兒及ビ育兒ニ關スル社會の方策ノ眞義ヲ十分ニ意識スル時ハ來リツツアル。而シテ上ニ述ベシガ如キ諸手段ハ間モナク全ク效力ヲ失ナフニ至ルデアラウ。サレバ其場合ニ社會ノ保護者ハ如何ニシテ餘分ノ人口ヲ生ム可ク女子ヲ誘導シ、又ハ促ガスコトガ出來ルデアラウカ。

子供ヲ生ムコトガ全ク女ノ任意事項トナツタ時デモ、子供ニ對スル自然ノ欲望ハ常ニ人口ヲ維持シ得ル、恐クハ維持スルデアラウ。併シ若シ國民的膨脹ノ爲メニ餘分ノ人口ガ望マル場合ニハ、其目的ノ達シ得ラルル有效ナル社會の方策トシテ只一ノ方法シカ殘ラナイと思フ。夫レハ金錢ニ於テカ、又ハ名譽ニ於テカ、充分ナル報償ヲ女ニ與フルコトデアアル。只母ノ本能ニ從フノミデハ、一人カ又ハ二人ノ子供シカ育テナイ女モ、若シ多數ノ立派ナ子供ヲ生ムコトニヨリテ富又ハ大ナル名譽ガ得ラルルコトニナラバ、自カラ進ンデ八人或ハ十人ノ子供ヲモ生ミ、且

ツ育テント熱心ニ努力スルデアラウ。廉價ナ方法ガ最早效力ヲ有シナクナツタ場合ニ、尙ホ以前ト同ジ結果ヲ望ムニ於テハ高價ナ方法ヲ以テ之レニ代ヘネバナラス。若シ此等ノ事柄ガ明ラカニ理解セラレ、人生ノ此方面ガ今日ノ如ク不合理的デハナク、眞ニ合理的ニ經理サルニ於テハ、社會的利益ノ増進ハ實ニ大ナルモノデアラウト思フ。但シ女子ノ幸福及ヒ有用ノ増進ハ一般ニ社會的利益ノ増進ト見做ス可キモノナルヲ前定シテ云フノデアル。

以上述ベシはるりんぐらホーすノ説ハ實際如何程ノ科學的價值ヲ有スルカハ、詳シキ批判的考察ヲ加ヘタル上デナクハ、斷定スルコトハ出來ナイガ、トニカク始メニ述ベシ問題ヲ起シテ、女ト産兒及ビ育兒トノ關係ヲ科學的ニ研究セントスルモノニ對シテ、多少ノ暗示ヲ與フルモノト考ヘルカラ、茲ニ其大要ヲ紹介スルコトトシタノデアル。